

## 第6回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和2年2月13日(木)PM7:00～PM9:00  
場 所 新城市役所 4階 会議室  
出席者 委員25名 事務局4名

### 次第

- 1 会長あいさつ
- 2 議事
  - (1) 令和2年度への引き継ぎ事項について
  - (2) 地域計画の進捗状況について

---

### 1 会長あいさつ

- ・会合は最後の機会なので、心残りがないように言いたいことは全部言って欲しい。
- ・定数28人のところ25人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

### 2 議事

#### (1) 令和2年度への引き継ぎ事項について

(事務局説明)

#### ◎来年度変更事項の確認

##### ①地域活動交付金

- ・新規団体や若者が申請しやすくするための9つの方法
- ・審査基準の改正(追加:チャレンジ精神、自立項目)

##### ②地域協議会推進体制

- ・分科会体制(地域活動交付金分科会・地域計画推進分科会)
- ・委員推薦の方針(2年任期を全うしてくれる人を推薦希望)

#### ◎令和2年度への引き継ぎ事項

#### ○主な意見

委員 交付金申請団体の判断でプレゼンを省略できることについて、団体がプレゼンを省略した場合でも、採点に影響することはないことを申請の段階で事務局から団体に申し添えておいてほしい。

委員 出沢区は令和3年度から2年任期を全うする人を出すことになった。

会長 この1年を経験してようやく地域協議会のことが分かってしっかり議論できるレベルまで到達できたのではないかと感じている。なので、1年で辞任する人ではなく、なるべく継続委員として2年任期を全う出来る人を令和3年度以降出して欲しい。

#### 審議結果

- ・令和2年度への引き継ぎ事項案のとおり、来年度の地域協議会に送りすることとなった。

## (2) 地域計画の進捗状況について

(赤川副会長、佐々木委員説明)

- ・地域計画分科会での地域計画策定状況について
- ・来年度地域計画推進分科会の方針について  
来年度の地域計画推進分科会で課題をさらに深掘りし予算積算を行った上で事業実施計画を作成していく。地域計画の策定に関しては、東郷住民に対して地域計画を見ていただくような何らかの機会を設け、意見をもらえるようにしたい。その後、各戸に計画の概要版を配布できたらと考えている。

その後、柱ごと5つのグループに分かれ意見交換を行った後、各グループから発表

### 1. 暮らそう

- ・高齢者の足がなくSバスも東地区ではあまり使い勝手がよくない。
- ・若者が仕事によっては消防団の活動は難しいなど、地域と若者のつながりをどうしていくかという問題がある。
- ・若者の集まり場所や遊ぶ場所が東郷地区内にはあまりない。
- ・来年度の方針として、「地域交通」「若者の地域活動」の2点を中心に考えていきたい。

### 2. 守ろう

#### ①可燃ごみ集積所の整備について

- ・「環境」というテーマを追加してほしい。
- ・生ゴミを堆肥にする、ゴミ袋の値段をあげる等ごみを減らす努力をもう一度してもよい。

#### ②草刈り支援事業について

##### 重要な問題

- ・草刈ボランティアもなかなか続かない。
- ・草刈りの刃、燃料、だけでなく人件費もきちんと払わないとできない。
- ・草刈大会などイベントをやるぐらいでない。
- ・景観、枯れ草で火災などの問題。

#### ③その他について

- ・信号のない横断歩道で車が止まらないなどの交通安全対策(マナー)
- ・年寄り世帯の引きこもり
- ・防災フェスタを東郷地区でできたらいい。また、自主防災組織に防災資機材もだいぶ整備されてきたので、資機材の使い方の共有などフェスタの中などでできればいい。
- ・空き家問題は相続放棄等で難しいところもあるが、地域に住みたいという声もあるので、しっかりと情報を発信していけたら。

### 3. 育てよう

まずは、「誰がやっていくのか」が大事

#### ①まずは「商品づくり」。

商品＝インストラクター(各テーマの教える人)。ここを育てるところから順に話し合いを進めていくといいのではないかと。人材育成。

東郷自治区特区免許制などもどうか

→ 一定時間の学びを専門家(元保育士等)を教員として、インストラクター養成講座を実施。受講修了者に特区免許を発行し、免許所持者が実務にあたる。

②その商品(インストラクター)を自治会が認可する。

③自治会がその商品を営業する。

より具体的な人材バンクの仕組みを作るところから始めたい。

#### 4. 学ぼう

○東郷の歴史を知ろう

- ・長篠設楽原の戦いを生かした事業も必要
- ・長篠・設楽原の戦い以外の歴史も学ぶ機会を作りたい。
- ・岩瀬忠震や早川孝太郎などの有名人など
- ・寺の調査をすることで、歴史が見えてくるのではないか
- ・東郷は寺が多い!?
- ・地区の境を調査するのもありでは?
- ・なぜこんなに複雑なのか?
- ・東郷地域歴史データベース作成事業
- ・小学生も調べられる
- ・知りたいときに見ることができる貴重な情報をどこかに埋もれてしまわないようにしたい

○観光

- ・道の駅もつくるを生かしたイベントや広報活動
- ・もつくるはいつもお客さんがいる
- ・駐車場がもっとあると・・・
- ・観光協会と協力して
- ・SNSを活用した広報活動
- ・鮎滝, 寒狭峡など・・・駐車場は?

○文化・伝統

- ・五平餅はどこにでもある。
- ・マコモダケを生産している人がいる・・・村田康助さんなど
- ・マコモダケうどんはうまい!
- ・火おんどりや放下おどりなど有名なものの広報
- ・上記以外に知られていない小さい伝統を調査してみては?
- ・寺社との関連が多いのでは?

○マップ(地域計画)に関して

- ・富永構造センターがない!
- ・トイレ情報が欲しい。歩いてまわるとき大切な情報になる。

#### 5. 楽しもう

- ・誰が楽しむのか。自分たちが楽しくなければ他の人も楽しくない。
- ・ドローンが飛ばせる、気球、アウトドアクッキング、カヌーで川下り、マウンテンバイクで出掛けて釣りができる場所を作る。
- ・スマホやSNSなどを駆使し、子どもや若者と高齢者がタグを組んで、自治会とメルカリの

共同で生前の片付け相談を売買する事例があった。そこには情報拠点があり、そこにいけば色々なことが相談できる。例えば高齢者がスマホをこどもから学んだり、こどもたちもアルバイト感覚で将来の仕事経験も積める。

- ・休耕地や空き地が増えてきているので、市民農園のシステムを作る。
- ・空き家を活用してマンスリー別荘、月単位で安く利用してもらおう。

#### 連絡事項

- ・令和2年度地域自治区予算事業計画の進捗状況について
- ・成果報告会の開催について
- ・地域活動交付金団体の活動紹介について
- ・地域協議会委員報酬、交通費支払いについて
- ・令和2年度地域協議会委員体制に係る提出物について

令和元年度最後の地域協議会となっており、東郷自治振興事務所長、東郷地域協議会長よりあいさつがあり終了となった。

【21:00 終了】